

第10回  
県立都市公園のあり方検討会  
明石公園部会

2023年8月8日（火） 10:30～16:00

@あかしこども広場 多目的ルーム

# 自然の豊かさを活かす

- 緑を増やしつつ、景観を守る（明石の里山として）
- 様々な事情で遠くに出かけられない人も、野鳥や虫、草花を観察するにの素晴らしい環境
- 明石公園は生態系を学ぶとても良いフィールド
- 様々な研究や活動の成果を共有できる場所としくみを
- 明石市、明石公園の豊かな自然を知り、学び、楽しむことのできるセンター機能を
- 明石公園全体をミュージアムとして捉え、外に出て学びたくなるような展示や「目次的」機能を実験的に進めていく

# 明石の文化的価値を活かす

- 明石公園は**重要な史跡**であるので、来園者がそれをもっと知ることができるように（展示、資料館など）
- **城下町・明石としての歴史・文化**を兵庫県と明石市の協働で展開していく
- 城だけでなく、**旧街道や明石海峡との関係の歴史**も大切
- **公園から魚の棚、海までを一体的に捉えて**イベントやしかけ、情報発信を（魚の棚と公園でうまくすみ分けしながら）
- **まちづくり**も、商業者だけでなく**色々な人とつながりながら**進めていく

# 子どもが遊び、学べる環境をつくる

- 学校の授業のフィールドとして高い価値がある公園
- 子どもたちが毎日遊びに来たくなるような場所に
- 駅前の公園で自然環境に触れ合える公園は貴重
- 公園の自然を案内・解説するガイドさんもいれば
- 子ども広場に子どもが思い切り遊べる自然と調和した遊具を設置すれば、子育て世代はもっと来園する
- 雨の日でも遊べる場所があれば
- 障害の有無に関係なく子どもたちが一緒に遊べる場所を明石公園全体で実現するため、学びと相互理解の機会も

# インクルーシブな拠点を目指す

- 駅からのアクセス性や周辺の良い環境を活かし、**孤独・孤立対策の拠点**としての機能
- 生きづらさを感じている人に対して、属性で分けるのではなく、**総合性をもった居場所づくり**が必要
- 相談や情報発信についても**窓口を明確に**
- 中間支援としての体制としくみ構築、**福祉の人材育成**も
- **旧市立図書館跡地**が活用できるのではないか
- **車椅子でも明石公園を通り抜けられるように園路整備を**（城壁の上からも楽しみたい）
- **車椅子で使いやすい公園は全ての人に使いやすい公園**

# 公園を健康づくりの場にする

- 駅から近い立地で芝生広場を活用してヨガフェスを提案
- 食のイベントなどでも公園利用者が健康について考える機会を
- ヨガは「つながり」が大切
- 明石公園の管理作業や環境活動などを健康と関連づけられたら、参加者の幅も広がる

# 民間活力を幅広く捉える

- 企業だけではなく、市民の力としての民間活力を活かす
- 民間力を「幅広く」捉える視点が大切
- 明石公園には長い歴史があり、十分な魅力があるため、適切に情報を発信すれば集客できる
- 具体的なテーマ設定のもとに適切なパートナーを選んでいく

# 人のネットワークを構築する

- 高校生は、子どもや市民と一緒に活動することにやりがいを感じる
- 明石公園で活動する人のボランティア組織の設立を
- 公園管理者だけでなく、市民も一緒に公園管理（草刈り、樹名札取り付けなど）を行う
- ボランティア活動の窓口と支援体制の構築
- 明石公園で活動している人や団体がわかる「明石公園人間図鑑」のようなものもあれば



# 維持管理の方法を工夫する

- 堀の水質を改善して、より魅力的な景観に
- 公園管理の基本は草刈りなので、年間計画をつくって市民も一緒に定期的に実施
- 公園の管理業務にもっと市民参加を呼びかけてはどうか
- 植物の管理にあたり、細かな配慮・判断が必要
- 草刈りにおいても実施時期などを工夫して、希少種を保護
- 管理作業のボランティアに参加した後に楽しみをつくる
- 管理で出た枝や落ち葉などを堆肥・肥料として活用し、環境も経済も循環

# 情報を集約し発信する

- 公園で実施するイベントなどの情報の公開と共有
- 明石公園の土壌も含めて、貴重な環境であることをもっとアピール
- 活動している団体だけでなく、子どもも含めた来園者が一緒に公園内の情報を集約・発信するようなくみができれば

# 既存施設を利用する

- 自転車競技場も含め、公園の施設を適切に維持・修繕しながら多くの人を使い、人の流れができ、街にも貢献ができるように
- 自転車競技の大会などで公園が賑わいが生まれることもある
- 個別の施設の改修計画については関係機関を含めて引き続き議論する

# 地球環境問題に貢献する緑地にする

- CO2を吸着させる **グリーンインフラ**としての明石公園
- 雨水がしみ込み、**地下水を涵養する土壌**をつくる
- **明石の海を育てる緑地**としての位置付け

# 人びとの生きる力を育む場所にする

- 身近な緑や鳥、青空から生きる力をもらえる場所
- 当たり前前の自然の価値を五感で認識できる機会